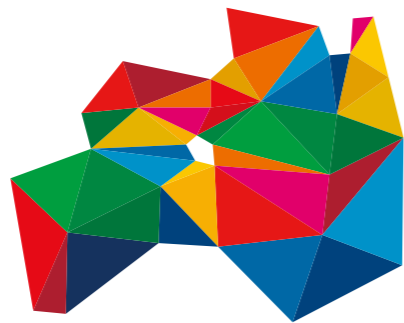


ふくしま みんなの

# SDGs

Sustainable Development Goals



2023 - 2024

2023年度 活動紹介BOOK

＼もくじ／

SDGsとは	1
ふくしまSDGsプロジェクトとは	2
2023年度の活動	3-5
ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム	6-10
プロジェクトパートナー	11-20
紙面連載「学校でSDGs」	21-27
作品ギャラリー SDGs未来新聞	28
SDGsポスター	29
プロジェクトパートナー一覧	30

# エスディーゼーズ / SDGsとは

Sustainable Development Goals



人類がこの地球で暮らし続けていくために、  
2030年までに達成すべき目標です。

SDGsは英語の「Sustainable Development Goals (サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ)」の頭文字を集めて略した言葉です。

日本語では「持続可能な開発目標」と訳されています。

最後の小文字の「s」は、目標が一つだけではなく、複数あることを示しています。

「持続可能」とは、将来にわたって続けられるということ。「開発」には成長や発達という意味も含まれています。SDGsとは、すべての人々が良い環境で生活し続けられるようにするための道しるべと言えます。

SDGsは2015年の国連サミットで各国のリーダーが決定しました。

17の開発目標があり、さらにより具体的な169の目標があります。「誰一人取り残さない」を合言葉に、2030年までの達成を目指しています。

国際的な目標といっても、社会を動かすには一人一人の行動が欠かせません。SDGsに無縁な人はいません。小さな心掛けが大きな力になります。

私たち一人一人の行動で世界が変わるはずです。  
一緒に進んでいきましょう！



## ふくしまSDGsプロジェクトとは

ふくしまSDGsプロジェクトは、福島県内の企業や団体、教育・行政機関などが連携し、2021年8月にスタートしました。活動母体の「ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム」は、子どもたちがSDGsを理解し、身近な課題を見つけて解決策を探る環境づくりを中心に取り組んでいます。

### SDGsを学ぼう

#### SDGsを学ぶ公開講座

SDGsに取り組む団体・企業、国連関係者などによる公開講座を開催しています。

#### 出前授業

学校向けに出前授業を実施しています。授業料は無料。協力団体・企業から講師を派遣し、実際に学校に出向き授業を行っています。

#### SDGs関連ニュースの紹介

公式WEBサイト上に、福島民報に掲載した最新のSDGs関連記事をアップしています。

#### SDGsメールマガジン発行 (月1回配信中)

福島民報で紹介されたSDGs関連の記事をはじめ、プロジェクト主催のセミナー、出前授業、公式サイト最新コンテンツ情報などを登録者に配信しています。

### SDGsに取り組もう

#### みんなのSDGs宣言募集とWEBサイト公開

SDGsの活動を学校教育に活用してもらおうプログラムです。総合的な学習・身近な活動を通して児童・生徒に「持続可能な世界を築くにはどのようなことを行えばよいのか」を考える機会になります。

#### 「SDGsポスター」「SDGs未来新聞」募集とWEBサイト公開

「未来をよくするために私たちにできること」をテーマに児童・生徒から作品を募り、公式WEBサイトで全作品を公開しています。



#### 「私たちが目指す世界 子どものための『持続可能な開発目標 (SDGs)』」

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの連携17の目標についてイラストを使ってわかりやすく解説しています。サイトからダウンロードし、学校の授業や企業などで活用していただけます。

#### 県内のさまざまなSDGs活動紹介

4月に小冊子を発行し、県内の全小中学校、高校、大学、自治体に配布します。公式WEBサイトにもPDF版をアップします。学校や団体のSDGsの取り組みを紹介しています。

プロジェクトの詳細は公式WEBサイトへ



ふくしまSDGs

<https://sdgs.fukushima.jp>



# 2023年度の活動 — 2023.4~2024.3 —

## SDGs出前講座

福島民報社やふくしまSDGsプロジェクトのパートナー企業・団体はSDGsに関わるさまざまな出前講座を行っています。福島民報社では、県内の小中学校、高校、大学などで新聞に親しむ出前授業を実施。SDGsの基本のほか、SDGsに関する新聞記事の紹介、SDGsをテーマにした新聞作りの指導など、要望に応じて展開しています。



## SDGsに関する記事の掲載

SDGsに関する記事にカットを付け、分かりやすく掲載しています。



2023年6月25日付

## SDGs広告特集の掲載

毎月1回、ふくしまSDGsプロジェクトを紹介するPR特集を紙面掲載しています。プロジェクトパートナー企業、団体のSDGs達成に向けた取り組みなどを紹介しています。



2023年5月28日付

## メールマガジンの配信

毎月下旬に、県内のSDGsに関する情報をお届けしています。



## 小冊子「ふくしま みんなのSDGs」の発行・配布

ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアムの構成団体や、パートナー企業・団体のSDGsの取り組みを紹介するA4サイズの小冊子を毎年4月に発行しています。県内の全小中学校、高校、大学、自治体に無料配布しています。



2023年4月19日付

## みんなのSDGs宣言募集

ふくしまSDGsプロジェクトの公式ウェブサイトでは随時、「みんなのSDGs宣言」を受け付けています。一人一人が未来を良くするために身近な課題を見つけ、解決に向けて行動を起こすきっかけ作りが目標です。寄せられた宣言はウェブサイトですべて閲覧できます。



## ふくしまSDGs未来博

ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアムは2024年1月20、21の両日、郡山市のビッグパレットふくしまで「ふくしまSDGs未来博」を開催しました。2日間で約1万200人が来場し、楽しみながらSDGsについて学びを深めました。80以上の企業、団体、自治体、学校がブースを設けSDGsの取り組みを紹介したほか、ステージイベント、規格外野菜を使用したSDGsちゃんこ鍋のチャリティ販売、防災関連の展示・体験コーナー、子ども食堂支援のためのフードドライブなど多彩に繰り広げられました。



## 住み続けられるまちに防災の重要性発信

郡山で開幕、きょうまで  
ふくしまSDGs未来博  
SDGsを推進するふくしまSDGs未来博が、20日、郡山市のビッグパレットふくしまで開催された。2日間で約1万200人が来場し、楽しみながらSDGsについて学びを深めた。80以上の企業、団体、自治体、学校がブースを設けSDGsの取り組みを紹介したほか、ステージイベント、規格外野菜を使用したSDGsちゃんこ鍋のチャリティ販売、防災関連の展示・体験コーナー、子ども食堂支援のためのフードドライブなど多彩に繰り広げられた。

2024年1月21日付



多くの食品が届けられているフードドライブ



被災地の復興を願いちゃんこ鍋を調理する大波さん

県内小中高生対象SDGs未来新聞、ポスター表彰式

## 受賞者たたえる

**SDGs未来新聞**

最優秀賞に選ばれた橋本さんと渡辺さんの未来新聞

最優秀賞に選ばれた森藤さんのポスター

ユニセフ賞に選ばれた渡辺さんのポスター

ユニセフ賞に選ばれた橋本さんの未来新聞

**受賞者**

橋本結希さん、森藤結希さん、渡辺千咲さん、橋本拓真さん

2024年2月12日付

公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会

福島市大町2番5号 | Tel 024-528-1145  
https://www.jaycee.or.jp/tohoku/fukushima/

JCのネットワークを活かし、持続可能な故郷の創造へ

青少年の健全な育成、地域の歴史や文化、魅力を発信する事業など青年会議所が実施するすべての事業にSDGsを紐づけ、運動を展開しています。

また青年会議所の強みであるネットワークを活かした災害支援や、行政・災害支援団体と連携した防災、減災に関わる事業など、住み続けられるまちづくりに向けた運動を展開しています。



福島県商工会議所連合会

福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8階 | Tel 024-536-5511  
https://www.fukushima-cci.or.jp

新たな時代に向けた経営支援強化

- 経営環境の変化に関する販路開拓・新事業創出、創業者支援
- 感染症対策を含めた新たな災害リスクに対応するための「事業継続計画」の策定支援の推進
- デジタル活用による中小企業の体質支援強化
- 高等学校等との連携強化による若者の地元企業への就職促進
- 各地の魅力、強みを活かした交流・関係人口の拡大の推進



中小企業への経営支援強化



SDGs未来新聞&SDGsポスター

「未来を良くするために、私たちにできること」をテーマに、児童・生徒からSDGsをテーマにした未来新聞とポスターの作品を募りました。今年度は未来新聞214点、ポスター301点、合計515点が寄せられました。

すべての作品はふくしまSDGs未来博の会場で掲示したほか、公式サイトですべて紹介しています。会場では優秀作品が発表され、後日、表彰が行われました。

作品は二次元コードを読み取って閲覧できます。

【SDGs未来新聞】



【SDGsポスター】



**ふくしまSDGsポスター優秀賞**

**黒沢さん(福小3年)表彰**

表彰式は、同校で行われた。

黒沢さんは「7年後の未来をよき未来にするために、私たちが「残さず食べよう」ということをテーマに、食べ物の廃棄を減らすことについて考えた。ポスターには、食べ物の廃棄を減らすためのアイデアをイラストで表現し、SDGsの目標12「持続可能な消費」をテーマにした。

▲2024年2月14日付

SDGs未来新聞優秀賞 渋谷さんと高坂小に賞状

同校では、学校生活に「SDGs」を取り入れることで、持続可能な社会の実現に貢献することをテーマに、SDGs未来新聞の発行を行っています。

渋谷さんは「SDGs未来新聞の発行を通して、地域の人々からSDGsに関する情報を得ることができ、自分たちが生活している地域が持続可能な社会になることを目指しています。」とコメントしました。

高坂小では、SDGs未来新聞の発行を通して、児童・生徒のSDGsに関する知識や関心を高め、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めています。

福島県商工会連合会

福島市三河南町1-20 コラッセふくしま9階 | Tel 024-525-3411  
https://f.do-fukushima.or.jp

中小・小規模事業者のSDGsを活用したビジネスモデルの推進

これまでSDGsを活用した企業経営を推進していくため、経営者らを対象に「SDGs経営戦略セミナー」を開催してきました。SDGsの概要や企業の取り組み事例を学び、理解を深めるとともに、SDGsに取り組みながら新たなビジネスチャンスにつなげていくことを目指しております。本会では今後も、県内企業のSDGs普及・推進に貢献していきます。



福島県ユニセフ協会

福島市仲間町4番8号 ラコパふくしま4F | Tel 024-522-5566  
http://unicef-fukushima.gr.jp

世界の子どもの権利の実現と健やかな成長をすべての子どもに公平な機会を

5年ぶり10回目となる子どもの権利の実現とSDGsへの取り組みを呼びかける「ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」を10月24・25日に開催。内堀雅雄知事ならびに大沼博文教育長と子どもたちの権利を守り、持続可能な世界を実現していくための意見交換とメッセージの交換を行い、学校を訪問しての「ユニセフ教室」も実施しました。





「地産地消」「国消国産」で食卓からSDGsを始めよう

日本の食と農、SDGsのために、地域でできる取り組みが「地産地消」。その地域で生産された農畜産物を、その地域内で消費することです。例えば、ファーマーズ・マーケットを利用すれば、新鮮な地元の農畜産物に出会えます。

「地産地消」をはじめ、国産の農畜産物を消費することで食の安心をすすめていくことが「国消国産」です。国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産するという考えです。生産者は、今、消費者ニーズに応える農畜産物づくりに取り組んでいます。JAグループは、「地産地消」「国消国産」をすすめることで、持続可能な食料、農業、地域社会、環境など、SDGsの実現に貢献します。

また、子ども食堂への食材提供、農業従事者への各種支援、フードロス削減など、さまざまな活動を展開し、SDGsの達成を目指しています。

「地産地消」、「国消国産」とSDGsの関わり



食料の安定確保と持続可能な農業の推進や森林の持続可能な管理や生物多様性損失の阻止、廃棄物・ゴミの3R(減量・再利用・リサイクル)を促す社会の仕組みづくりに努めたい

本学では、再生可能エネルギーの地産地消ふくしまモデルを創出しカーボンニュートラルの実現に貢献するため、食料や森林・水環境の持続可能性に関する研究開発や人事育成に取り組んでいます。また、廃棄物・ゴミの3Rを促す社会づくりや人感センサーを用いた節電、トイレ洗浄水へのリサイクル水活用などにも取り組んでいます。



AI、IoT、ブロックチェーン、メタバース等の先進的なICTテクノロジーは、さまざまな領域において持続可能な社会の構築に貢献できます

SDGsを念頭に置いた様々な研究や取り組みを進めていて、質の高い教育、産業と技術革新はもとより、エネルギー分野や健康と福祉分野など、幅広い分野でSDGs目標の実現に寄与する研究等に取り組んでいます。ICTは様々な領域において基盤となる技術になっていて、持続可能な社会の構築に貢献することができます。



会津大キャンパス



福島県では、多様な主体による連携・協働の機会を創出し、SDGsを通じた本県の課題解決に向けた広がりや活性化を促進するため、その活動の場としてプラットフォームを設置し、取り組んでいます。

プラットフォームでは、イベントやセミナー等を通じて、会員の皆さんのSDGsの取り組みの発信やサポートを行っています。

令和6年1月に開催した「ふくしまSDGs推進フォーラム」では、県内でSDGsに取り組む団体と有識者によるパネルディスカッションや、参加者交流会を実施しました。また、会場内ではSDGsに関する取り組みを行っている団体がブース出展し、クラフト体験等を通じて来場者にSDGsの取り組みを紹介しました。

今後も、会員の皆さんの取り組みの発信やマッチング支援、分科会の実施などを通じて、県内のSDGsの取り組みを大きなうねりに繋げ、県内外の皆さんとパートナーシップを深めながら本県の課題解決に向けて取り組んでまいります。



令和6年1月20日  
ふくしまSDGs推進フォーラム



ふくしまSDGs推進フォーラムのブース出展の様子



「すべての人に健康と福祉を」県民の「健康」の維持・増進に取り組んでいます

- 保健、医療、福祉等の分野で活躍する医師、看護師、医療技術者を育成し、高度な医療機器・技術を用いた診療の提供により県民の健康維持・増進に貢献しています。
- 郡山市と締結した「SDGsの推進に関する包括連携協定」に基づき、健康寿命の延伸と健康格差の縮小につながる共同研究に取り組んでいます。



郡山市と「SDGsの推進に関する包括連携協定」を締結



地域マネジメント学科有志による「キラゲを通して、福島県環境、農業、未来を考える」プロジェクト

イベントで2つのことを企画し、実践しました。

- ①海を守る上で森林が大切であること、原発事故の影響で、しいたけの原木生産が大きな痛手を被っていること、しいたけ生産が伸び悩む中で、きくらげ栽培が地域活性化の切り札の一つとなる可能性があることを分析し、ポスター7枚で展示しました。
- ②知名度がそれほど高くないきくらげを知っていただくため、きくらげに触れる機会の創出と販売を行いました。ワークショップ参加者からは、「地域のことをよく考えていて大変勉強になった」等の反響がありました。



# 桜の聖母短期大学

福島市花園町3-6 | Tel. 024-534-7137  
<https://www.sakuranoseibo.jp>

## 福島の課題×SDGs×「私」×「私たち」をつなげる学びを。

本学の「福島学」は、震災直後から設置された科目です。この授業では、福島が震災復興過程から独自に抱えている課題とSDGsのアジェンダを関連付けるフィールドワークとディスカッションを重視しています。「正解」がないからこそ、自分たちの主体性を問う学習活動、そして地域社会を支え続けていく人材としての当事者性を意識できる取り組みをしています。



# 日本大学 工学部

郡山市田村町徳定字中河原1番地 | Tel. 024-956-8618  
<https://www.ce.nihon-u.ac.jp>

## 脱炭素に向け取り組む竹筋コンクリート復活プロジェクト

2021年から新和設計（山形県）他とともに「竹筋コンクリート協議会」を発足し、鉄筋に代えて竹をコンクリートの補強材として用いる竹筋コンクリート実用化を目指しています。実証試験を幾度も重ね、昨年11月には協議会、南会津町、地域のみなさま、土木工学科、機械工学科学学生ら約70人によって農業用水路を完成。引き続きプロジェクトを続けていきます。



# 福島民報社

福島市太田町13-17 | Tel. 024-531-4111  
<https://www.minpo.jp>

## 復興に向かう福島からSDGsの輪を広げ子どもたちと一緒に持続可能な社会を築きます

「福島民報社SDGs宣言」に基づき、紙面企画やイベント、奉仕活動などに取り組んでいます。事務局を担う「ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム」は、2024年1月に郡山市で「ふくしまSDGs未来博」を開催。約80の企業、団体、学校、自治体などが出展し、来場した約1万2000人が楽しみながらSDGsについて理解を深めました。



SDGsの実現を誓った未来博のフィナーレ



# 民報社とKFB SDGsで協定締結

### 情報発信など連携 本紙企画の番組放送も

福島民報社と福島放送（KFB）は「ふくしまみんなのSDGs」連携協定を締結した。SDGsをテーマとした企画やフッドドライブ（SDGs）に連携して取り組む「ふくしまみんなのSDGs」連携協定を締結した。SDGsの普及やSDGsの推進を推進する。

①SDGsの情報発信・啓蒙 ②SDGsの達成に向けた取り組みの推進 ③SDGsの普及やSDGsの推進を推進する。両社の連携により、SDGsの達成に向けた取り組みの推進や、SDGsの普及やSDGsの推進を推進する。両社の連携により、SDGsの達成に向けた取り組みの推進や、SDGsの普及やSDGsの推進を推進する。

▲2023年9月2日付

# 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部

郡山市開成3-25-2 | Tel. 024-932-4848  
<https://www.koriyama-kgc.ac.jp>

## 環境に配慮した循環型社会を目指す

環境に配慮した森林保全や資源再利用、食品ロスを防ぐ活動などを通してエコマインドを持った大学生と附属高校生を育てています。郡山市熱海町に所有する教育林・石筵開成の杜で市内の親子を対象にした自然観察会を催し、森林の大切さを理解してもらうなど、持続的に発展可能な循環型社会づくりに努めています。



自然観察会で木製コースターを作る家族



# 福島県生活協同組合連合会

福島市仲間町4番8号 ラコパふくしま4F | Tel. 024-522-5334  
<http://fukushima.kenren-coop.jp>

## ふくしまゼロカーボン宣言事業への積極参加

会員生協のひとつ「コープあいづ」では、気候変動に対する「緩和策」ではCO<sub>2</sub>削減、「プラスチック削減」ではレジ袋をバイオマスプラ100%、「食品ロス」では手前どりやフードバンク、「社会貢献」では環境委員会による清掃活動などが評価され「ふくしまゼロカーボンへの挑戦表彰制度（事業所版）」上級編で最優秀賞を受賞しました。



## KFBとのSDGs連携協定

福島民報社と福島放送は9月1日、SDGsに連携して取り組む「ふくしまみんなのSDGs」連携協定を締結しました。両社は共に、SDGsをテーマとした企画、プロジェクトを推進しています。

## フードドライブの実施

福島民報社と福島放送のSDGs連携協定の 일환として2月、子ども食堂支援を目的としたフードドライブ「笑顔の広場」を実施しました。県内37の企業、団体、学校が賛同し、段ボール142箱分の食品が寄せられました。食品はふくしまこども食堂ネットワークを通じ、県内のこども食堂へ届けられました。

賛同企業、団体、学校は次の通り。

アイクリーン、会津乗合自動車、アイネット、あぶくま信用金庫、アポログループ、NCV、クラシマ、郡山女子大学、こころネット、こんの、佐藤クリーニング、サン・ベンディング福島、JA福島五連（JA福島中央会、JA福島厚生連、JA全農福島、JA共済連福島、農林中央金庫福島支店）、常陽経営、損害保険ジャパン福島支店、SOMPOひまわり生命保険福島支社、第一生命保険福島支社、大樹生命保険会津支社、大和ハウス工業福島支店、太陽興産、TSC、東北コピー販売、日東産業ホールディングスグループ、パンパーチャパン、日和田ショッピングモール、プアアナラ、福島学院大学、プリマックス、報徳観光バス、目黒工業商会、弓田建設、リコージャパン福島支社、ローズ・ビルサービス、若松ガス、ワンダーファーム ※五十音順

### 民報社、福島放送フードドライブ 県内企業、団体、学校協力 食品142箱子ども食堂へ

福島民報社と福島放送は「ふくしまみんなのSDGs」連携協定に基づき、2月に「笑顔の広場」フードドライブを実施しました。県内37の企業、団体、学校が賛同し、段ボール142箱分の食品が寄せられました。食品はふくしまこども食堂ネットワークを通じ、県内のこども食堂へ届けられました。

▲2024年3月7日付

株式会社 東邦銀行

福島市大町3-25 | Tel. 024-523-3131(代表) | https://www.tohobank.co.jp



食品ロス削減と脱炭素化による持続可能な社会の実現  
～地域社会に貢献する「会社」へ～



「市場直送SDGs即売会」の様子



「とうほうフードドライブ」で集まった食品等（一部）

当行グループでは、2020年2月に「とうほうSDGs宣言」を制定し、福島県の持続的成長に向けて、地域の社会・環境課題の解決に取り組んでいます。昨年は“食品ロス削減”をキーワードとして、2つの新たな取り組みを行いました。①福島市内の卸市場事業者さまと連携して「市場直送SDGs即売会」を開催。本来廃棄される野菜や果物等の規格外商品を販売する場を提供することで、食品ロスと廃棄コストの削減を支援。②当行役職員が家庭にある食品等を持ち寄り、社会福祉団体へ寄付する「とうほうフードドライブ」を実施。地域の貧困問題解消や食品ロス削減に貢献。その他、金融リテラシー向上に向けた金融経済教育の実施、当行オリジナルキッチンカーでの県内各地のこども食堂訪問による金融・SDGs教室の開催、食育活動の支援等にも継続的に取り組んでいます。

「福島県2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、2023年11月に当行のCO<sub>2</sub>排出量削減目標を見直し、新たに「2040年度カーボンニュートラル」という目標を設定しました。ZEB採用による環境配慮型店舗への建替え、空調・照明・車両等設備更新や再エネ導入等の脱炭素対策に取り組むとともに、お客さまの脱炭素支援としてCO<sub>2</sub>排出量の算定・削減等に関するコンサルティングを実施してまいります。当行グループ一体となりCO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みを加速し、県内におけるサステナビリティ経営を牽引してまいります。



株式会社福島放送

郡山市桑野4-3-6 | Tel. 024-933-5851 | https://www.kfb.co.jp



福島豊かな自然・暮らし・営みを未来につないでいくために  
SDGsに取り組み、県民の皆様はその重要性を伝えていきます



KFBまつりやふくしまSDGs未来博でワークショップを開いています



おにぎりフェスで展示した米を子ども食堂に寄付しました

福島放送では、SDGsの重要性を県内の皆様に伝え、ともに“持続可能な未来”を考えていくための取り組みを行っています。9月からは福島民報社と福島の良い未来をともに考えるための共同キャンペーン「ふくしまみんなのSDGs」を開始。報道情報番組「シェア！」（月～金15：48～19：00）ではこれに関連したコーナーを設け、県内の取り組みを伝えています。

6月にはスポーツでゴミ拾いをするイベント「スポGOMI in 郡山」で郡山駅前の美化に貢献。10月の「KFBまつり」では新聞紙でできる防災グッズ作りのワークショップを開くなど、イベントでもSDGsを発信してきました。

県民の高血圧予防を目的とした「ふくしまの健康！応援キャンペーン～ウデをまろう、ふくしま！」では、引き続き高血圧予防を呼びかける啓発CMを放送したほか、会津若松市と郡山市で「高血圧予防改善セミナー」を開催しました。

現在、福島放送ではフードドライブや子ども食堂支援に力を入れており、各家庭で眠っている食料品を集める、社内に備蓄している災害時用の食料品やマスクを届けるなどの取り組みを継続しています。今年度は新たな取り組みとして、11月の「おにぎりフェス」で展示用に購入した米27.5kgを子ども食堂に寄付しました。

今後は、「ふくしまみんなのSDGs」の取り組みの一環として、関係企業にフードドライブへの協力を呼び掛け、支援の輪を広げていく予定です。



# ≡ 荒川産業株式会社 ≡

喜多方市屋敷敷3960 | Tel 0241-21-1511 | <https://amarc.co.jp>



## 「地域資源を発掘」し、 「地域課題を解決」する 「ふるさと循環型リサイクル企業」

荒川産業の特徴的な取り組みを3つ紹介します。  
1つめは、リサイクルBOXです。「24時間」「誰でも」「好きな時」に金属製品や缶類、段ボール、新聞、雑誌などの「資源ごみ」を回収する仕組みです。ここに集まった資源ごみ収益金の一部を基金化しています。



従業員と資源の加工について話す荒川社長(右)

2つめは1992年に開設した、さまざまな資源リサイクルを説明する展示室「リサイクルミュージアムくるりんこ」です。現在、15,000人を超える方に見学いただいております。環境意識に目を向ける場の提供をしています。



資源ごみを回収する「リサイクルBox」

3つめは「環境×福祉」の連携事業です。東日本大震災後に障がい者福祉事業所「ステップボード」を開設し、障がい者の方の就労機会を提供しています。



# ≡ 株式会社日本旅行東北 ≡

宮城県仙台市青葉区中央4-7-22 学校法人北社学園中央6号館5階 | Tel 022-266-0071 | <https://www.nta.co.jp/tohoku/>



## 1. 健やかで、不公平のない、豊かで活力のある生活を創ります。 2. 私たちに恵みを与えてくれる自然とその美しい景観を守ります。 3. 個々の文化への理解を促し、平和で公正な社会づくりに寄与、貢献します。

具体的事例のひとつに高校生に向けたイベント、サステナブル・ブランド スチューデント・アンバサダープログラムの実施があります。高校生に企業や他校生と一緒にSDGsを考えてもらう機会を提供すべく、「スチューデント・アンバサダープログラム東北ブロック大会」を実施しております。東北各地から集まった高校生が、東北で活躍する企業の話聞きながら、オピニオンリーダーのファシリテートのもと、ディスカッションを行うものです。実施後に論文を提出して選ばれた高校は、「サステナブル・ブランド会議」内で行われるSAプログラムに参加し、発表を行います。



スチューデント・アンバサダープログラム東北ブロック大会(2022年郡山にて開催)

2024年は仙台にて開催！  
高校生諸君の参加をお待ちしています！



# ≡ 東北コピー販売株式会社 ≡

福島市御山字一本松13番地の5 | Tel 024-559-0245 | <https://t-copy.co.jp>



## 地域のDX推進企業として 率先して行動し、SDGsの目標達成に 貢献します

目標達成のため、生産性の向上と働きがいを従業員とともに創造し、継続したオフィス改善活動を実施しています。



SDGsのゴールを貼り付けたロッカー

SDGsのゴールをオフィス内のロッカーに貼り付けるなど、社員及びパートナーの意識改革・向上に努めています。お客様の生産性向上・働き方改革を支援するためにクラウドを活用したデジタルツールの導入を通し、業務のデジタル化を推進しています。



SDGsへの意識を高めるため17の目標のアイコンを床に敷いている東北コピー販売のオフィス

また、地域企業のDX推進のために、福島学院大学でのDX人材育成講座を通し、学生に企業がデジタルを活用するメリットを伝えています。これからも、SDGsの推進を通じてDX(デジタルトランスフォーメーション)GX(グリーントランスフォーメーション)に繋がる活動を率先して実行します。



# ≡ 生活協同組合パルシステム福島 ≡

いわき市常磐西郷町落合278 | Tel 0246-43-1555 | <https://www.palsystem-fukushima.coop>



## サステナブルな未来へ向かって、パルシステムは 多くの人たちと手を取りあい、SDGsをすすめていきます。 もっという明日へ 超えてく!!

生協パルシステム福島では、地域の福祉や助け合い活動に貢献する取り組みを進めています。その一つとして、浜通りと中通り地区で生活弱者を支援しているNPO団体が運営する子ども食堂などへ予備青果を定期的に提供しています。



予備青果

### ※予備青果とは？

生協の宅配では、傷みや破損を見込んで注文の数より多い品物を入荷します。そのため、配達されずに残る野菜や果物が発生します。これらを予備青果と呼んでいます。

事業活動に伴うプラスチックごみ問題については、使用量の削減とリサイクル回収の取り組みをさらに進めます。また、環境啓発としてピーチクリーン活動も実施しています。フードドライブや子ども食堂などへの支援活動を継続して行い、食を通じて地域の皆様に貢献してまいります。



予備青果を使ったお弁当





「人々や生物が快適に過ごせる、ふるさとの水辺にしていこう」をテーマに自然保護イベントを実施しています

トヨタ自動車は毎年、全国で自然保護イベント TOYOTA SOCIAL FES!! (トヨタソーシャルフェス) を実施しています。県内では昨年、いわき市の四倉海岸と猪苗代町の猪苗代天神浜で行いました。県内のトヨタ販売店従業員をはじめ、地域団体や学生などが参加し、ふくしまのきれいな水辺を取り戻すための環境美化活動に励みました。

また、各会場に水素燃料電池自動車 (FCEV) MIRAI (ミライ) や新型プリウスなどを展示し非常時給電システムの紹介も併せて行いました。LEDライトと電子レンジへ給電し、非常時の停電の際、給電対応車が役立つことを紹介しました。



MIRAIからLEDライトと電子レンジに給電している様子

<b>福島トヨタ自動車</b> 福島市太平寺字沖高25番地 Tel. 024-546-2000 <a href="https://www.fukushima-toyota.co.jp">https://www.fukushima-toyota.co.jp</a>	<b>福島トヨペット</b> 郡山市字川向1-1 Tel. 024-946-1111 <a href="https://fukushima-toyopet.co.jp">https://fukushima-toyopet.co.jp</a>	<b>トヨタカローラ福島</b> 郡山市字川向61 Tel. 024-945-0200 <a href="https://www.corolla-fukushima.jp">https://www.corolla-fukushima.jp</a>
<b>ネットトヨタ福島</b> 福島市丸子字中ノ町12番地 Tel. 024-502-1100 <a href="https://netzfukushima.com">https://netzfukushima.com</a>	<b>ネットトヨタノヴェルふくしま</b> 郡山市字川向1-1 Tel. 024-947-1011 <a href="https://www.novel-f.co.jp">https://www.novel-f.co.jp</a>	<b>ネットトヨタ郡山</b> 郡山市緑町17番8号 Tel. 024-927-5665 <a href="https://netz-kooriyama.co.jp">https://netz-kooriyama.co.jp</a>



資源の可能性を再発見し、循環させる

「豊かな創造性を発揮し社会貢献を果たす」を社是に掲げ、3つの柱として事業を通じた循環型社会の実現を目指しています。新たな事業として、リチウムイオン電池 (LiB) からレアメタルを回収し、LiB原料へ再生する「LiB再生事業」の実現化に取り組んでおり、環境・社会課題解決の一助として、SDGs達成に貢献してまいります。



LiB再生事業が目指すサーキュラーエコノミー



金融機関の役割を生かしSDGs実現につながる投資、まちづくり、人材育成に努めます

令和2年4月、福島県内の8金庫は、「SDGs共同宣言」を公表し、地域経済の持続的発展に向け連携して取り組んでいます。令和4年11月には8金庫統一商品「SDGsサポートローン」の提供を開始しました。

当金庫独自では、燃料電池自動車「MIRAI」2台を導入。南相馬市社会福祉協議会フードバンクへの災害備蓄用無洗米の寄付、企業版ふるさと納税を活用した寄付を実施。東北地方の信用金庫で初となるタブレット端末を活用した「営業店窓口支援システム」を導入し、ペーパーレス化を進めています。子ども向けの金融教育「マネースクール」や、成人年齢が18歳に引下げられたことに伴い高校生を対象とした「マネーハイスクール」を開催しています。



ペーパーレスを推進する営業店窓口支援システム



お客様と社員の物心両面の豊かさを追求し、地球環境を最優先に考え行動する企業です

SDGsを推進する当社の代表的な取り組みをご紹介します。

- 障がい者雇用を推進し、誰もが能力を發揮できる職場環境を整えています。先般、この取組により厚労省の「もにす認定」を取得しました。
  - 環境展示会への積極的な出展を通じ、環境への意識を高め持続可能なビジネスモデルを追求しています。
  - 女性社員の活躍を促進するため独自の研修制度を導入し、自ら考え行動する姿勢やリーダーシップ醸成を通じ、ジェンダーバイアス撤廃に取り組んでいます。
  - 地域コミュニケーションの強化を通じ地域の課題に寄り添い、共に持続可能な地域社会形成に取り組んでいます。
  - 社員の成長促進のため、継続的な教育プログラムによる職場改善を徹底し、より働きやすい職場環境実現に取り組んでいます。
- これらの取り組みにより、今後も持続可能な社会への貢献を継続して参ります。



2024年1月に出席した「ふくしまSDGs未来博」の当社ブース



**みんなのSDGs宣言**

国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の実現には一人一人が未来を良くするために身近な課題を見つけ、解決するために行動を起こすことが大きな一歩になります。ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアムは公式ウェブサイト「みんなのSDGs宣言」を随時受け付けています。これまでにサイトに寄せられた宣言を一部、紹介します。みんなで「SDGs宣言」をしましょう!

随時募集中!

- 節水・節電に取り組みます (いわき市・60代男性)
- スーパーでは積極的に手前取り (二本松市・30代男性)
- 差別や偏見のない社会に向けて自分なりに取り組む (福島市・20代男性)
- ごみの分別、ポイ捨ては絶対禁止! (郡山市・10代女性)
- エネルギーを大切に使う (二本松市・50代男性)
- 福島県内の学習環境を平等に (郡山市・10代女性)
- 毎日マイボトル! (小野町・10代女性)
- 募金を通して寄付をする (郡山市・10代女子)
- マイバッグを持つ (玉川村・30代女性)
- 昔の良いところを学び未来につなげていきたい (二本松市・70代男性)
- 無駄な食材をなくす 食品ロスをなくす (福島県外・50代女性)

## 株式会社 櫻エンジニアリング

郡山市島一丁目22-30 | Tel. 024-953-6830 | <https://www.sakura-gr.co.jp>



### インフラ長寿命化及び災害に耐え得るインフラ整備、災害への迅速な復旧対応を通して住み続けられるまちづくりを行います。様々な不平等を無くし多様性を尊重します

櫻エンジニアリングは国土強靱化に努め災害に耐え得る安全なインフラ設計を行うとともに、インフラの老朽化問題に取り組み、多種多様なインフラ点検を実施し、長寿命化の提案を行っています。また、自然の持つ多様な機能を賢く利用する「グリーンインフラ」による水質浄化の研究に取り組んでいます。性別による格差や不平等の撤廃のため、女性の管理職等への登用や女性の全職域就業を支援しています。さらに、全社員対象の賃金向上を常に目指し、資格取得支援やテレワーク、短日短時間勤務等の導入、フェアで多様性に対応した持続可能な会社作りを実施しています。社会インフラを未来に引き継ぐことを使命とし、まち・人・毎日の安心を支えます。



橋梁などの社会インフラを守るため、定期的に点検を行っています（国道4号・白河大橋）



## 株式会社 高良

南相馬市原町区深野字入龍田117-7 | Tel. 0244-22-7111 | <http://www.takaryo.co.jp>



### 「地域社会貢献から地球環境をより良くする」をテーマに、循環型社会をリードしていく企業として、SDGsに取り組みます

1913年の創業以来、一貫してリサイクル業としてその時代の社会のニーズに応え、金属・紙産業を核とし、リサイクル品の集荷、選別、加工、販売と精力的に活動しております。当社では、資源・廃棄物を軸とし、エネルギー・大気・水・生物多様性・製品・人事労務・地域社会を加えた9分野を重点的取り組みとしています。例えば、2030年までに現状から10%のリサイクル率の向上を目指しております。今後も地域社会活動に伴うあらゆるリサイクル原料になり得るものと廃棄物を適正処理することにより、SDGsが目指す持続可能な世界の実現に貢献してまいります。



株式会社高良の本部エコプラザ



## 損害保険ジャパン株式会社 福島支店

郡山市堂前町6-4 郡山堂前合同ビル7階 | Tel. 024-991-8233 | <https://www.sompo-japan.co.jp>



### 安心・安全・健康な暮らしを支える保険会社として、事故や災害を未然に防ぎレジリエントな社会づくりに貢献します

損保ジャパンでは、SDGsの必要性についての理解を深めることを目的とした「SDGsカードゲーム」の提供や防災について学び・体験する場を提供する「防災ジャパンプロジェクト」を開催するなど、SDGs推進について取り組んでいます。今後も地域の安心・安全・健康をお届けするための取組を福島県の皆さまと連携し進めて参ります。



福島民報社にて行われたSDGsカードゲームの様子



## トーホクサービス株式会社

会津美里町字宮里86 | Tel. 0242-54-5455 | <http://www.tsc-g.jp>



### 新時代に向けて、環境に優しい運行や建設事業を実践します

二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）や窒素化合物等の有害ガス排出規制車両の強化を目指しています。近年は道路交通網も急速に整備され、トンネル工事全般においても、従来の工法に地球環境の保全保護を重視する施工法が求められています。有害成分が原因となっている地球温暖化問題を解決するため、クリーンディーゼルエンジンを搭載した車両を積極的に導入しています。社内で収集したペットボトルキャップと使用済み切手を社会貢献活動に取り組み取引先に寄付する活動や、会社がある高田工業団地で年に数回、社員がゴミ拾いに励み環境美化に努めています。

明るい未来社会の実現に向けて、「為せば成る」のチャレンジ精神を大切にしています。失敗を恐れず新しい考えを取り入れながら、運行と建設事業で福島県に貢献していきます。



回収したペットボトルキャップと使用済み切手を寄付する社員



## SOMPOひまわり生命保険株式会社 福島支社

郡山市堂前町6-4 郡山堂前合同ビル5階 | Tel. 050-2016-8565 | <https://www.himawari-life.co.jp>



### 万一の保障と健康支援で地域の皆様をサポートします

当社は万一の保障だけでなく、毎日の健康も応援する「健康応援企業」として、保険機能「Insurance」に健康を応援する機能「Healthcare」を組み合わせた従来にない新たな価値「Insurhealth®（インシュアヘルス）」を提供することを経営戦略に掲げています。当支社ではインシュアヘルスの理念の下に開発された商品やサービスを地域の皆さまにお届けする活動をしており、「いざというときに保険金をお支払いする」だけでなく、「病気になるように支援する」などお客さまと一生つながり、お客さまの健康維持・増進を後押しすることを目指しています。



各種イベントでがんの早期発見の大切さを伝えています



## バンブージャパン株式会社

会津若松市東栄町1-77 スマートシティAiCT 3階(会津支社) | Tel. 03-6205-4665(東京本社、代表) | <https://banpu-japan.com/index.html>



### 環境に配慮しながらデジタル技術で再生可能エネルギーの持続的な安定供給を実現させ、地域社会への貢献を目指しています

全国で太陽光発電所、ソーラーカーポート、大型系統蓄電所(開発中)を開発・運営し、カーボンニュートラルと電気供給の安定化に取り組むとともに、エネルギーの地産地消や災害対応力向上にも貢献。会津若松市を拠点に、地方自治体と協力し地域の脱炭素プロジェクトを推進。大学や中学校でのセミナーを通じて再生可能エネルギーの理解を広め、本業である再生可能エネルギー事業を通じて、持続可能な未来に向けた活動を展開しています。



会津大学にて実施した東南アジア発エネルギー企業の事業転換についての講義



## 株式会社日和田ショッピングモール

郡山市長者1丁目7番21号 長者ビル1階 | Tel. 024-968-0301 | <https://smfesta.com>



### 新たな商業施設へ生まれ変わるまでに私たちが出来ること

弊社が運営していたショッピングモールフェスタが8月31日をもって営業を一旦終了したことにより、必要な災害備蓄品数を見直し、郡山市福祉協議会へ寄付いたしました。

また、解体工事で発生するコンクリートやアスファルトは砕いて新しく生まれ変わる施設で再利用し、廃棄物は分別排出により廃棄物の削減に挑戦しています。



新しい施設へと生まれ変わる、旧ショッピングモールフェスタ



## みちのく陸運株式会社

福島市飯坂町平野字若狭小屋14-6 | Tel. 024-557-5145 | <https://www.michinoku-exp.com>



### 想いを載せて未来へ届ける

最新の排ガス処理装置が搭載された車両の積極的な導入と、ドライバーへのエコドライブの管理を徹底し、窒素酸化物（NOx）の排出削減に取り組んでいます。新設した倉庫の屋根に約150坪分のソーラーパネルを設置し倉庫内の照明やリフトの充電、本社屋の電力として活用する予定です。

また、SDGsの取り組みを行う以前から「Gマーク認定」「グリーン経営認証」を取得しております。新たに自社の営業車として電気自動車2台を導入しました。環境への配慮と安全の意識はすでに全従業員に根づいています。



最新の排ガス処理装置が搭載された車両



## 株式会社 Pur nanala

いわき市常磐水野谷町ヶ沢128-2 | Tel. 0246-51-8461 | <https://pur-nanala.com>



### プアナーラはカーボンニュートラルに向け、全ての新築住宅をZEH化で提供し続けることを宣言します

環境に優しい家づくりを目指すプアナーラでは省エネ性能の基準を示す「BELS評価」を全棟実施しております。「プアナーラSDGs宣言」に基づき、全てのお客様に高性能住宅の提案を行っております。地球温暖化への取り組みにはエネルギー収支をゼロ以下にする「ZEH」住宅を普及することも重要です。高气密高断熱住宅にすることで、日々の光熱費を抑えることができ、太陽光パネルや蓄電池を併用することでゼロエネルギー住宅を実現出来ると考えております。



プアナーラのゼロエネルギー住宅外観写真



## 若松ガス株式会社

会津若松市千石町4-16 | Tel. 0242-28-1311 | <https://wakagas.co.jp/>



### 多様な人材が活躍できる環境づくり、脱炭素・省エネ推進、企業活動のDX化を進め、地域の活性化に貢献します

当社では、自社で使用するエネルギー（都市ガス・LPガス・電気）のカーボンニュートラル化によるCO2排出量の全社削減をはじめとした、脱炭素・省エネの取り組みを展開しています。また、女性活躍推進、柔軟な働き方の支援等にも注力しており、多様な人材が活躍できる環境づくりも現在進めているところです。地域インフラを担う企業として、エネルギーの安全・安定供給、法令遵守等のもと、企業活動のDX化や地域人材の積極的採用、出前講座等の開催による地域の皆様との連携を通じて、様々な地域課題の解決を目指してまいります。



カーボンニュートラルLNGの受入式をおこないました



## 株式会社報徳観光バス

郡山市南2丁目50 | Tel. 024-983-8222 | <https://www.gurutto-koriyama.com/detail/160/index.html#sdgs>



### 地域の皆様と共に社員一丸となって、SDGs達成のための活動に取り組んでまいります

当社では定期的に車両点検や乗務員指導・研修を行っております。救命救急や事故研修など様々な講義や研修をすることで社員のリテラシーを高め、安全で楽しい旅をプロデュースしております。

最新車両を取り入れ、排気ガスを減らしたり燃費を上げたりすることで、環境に配慮した事業運営を目指しています。また、車椅子の方でもご利用いただけるよう車両に専用の装置が搭載されています。全ての方が平等にご利用いただける事を目指して取り組んでいます。



環境に配慮した最新車両



## 株式会社ワンダーファーム

いわき市四倉町中島字広町1 | Tel. 0246-85-5105 | <http://www.wonder-farm.co.jp>



### 事業を通して、「地域農業と地域環境をより良く」「地域を元気に」「お客様と家族と自らの幸福」を実現します

ワンダーファームは国内でもいち早く、1989年より大規模温室によるトマト栽培経営を行い、食を通して持続可能な地域と農業を目指しています。そのために以下のような活動を行っています。

- ① トマトという食を通してすべての人の健康を応援
- ② 見学学習などを通して学びの機会を提供
- ③ 農業法人として多様な方の雇用を支える
- ④ 「太陽光利用型植物工場」と呼ばれる、太陽光を活用して最適な栽培環境を保ち、安定した収穫を見込んだ施設で作物を栽培
- ⑤ トマトジュースは瓶での製造にこだわり、再利用可能な製品作り挑戦。



トマトを通じて地域社会に貢献します



2023年4月12日付

### 学校でSDGs

## 桜の聖母学院小(福島)児童14人

### つくる責任つかう責任

2023年(令和5)年10月から、クリアファイルの回収事業に取り組み、回収率を上げてきました。17ある目標のうち、このように項目ごと学習しているのか。毎月2回、各校の活動を紹介します。

### SDGsとは

Sustainable Development Goals(サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズ=持続可能な開発目標)の略文字などを集めた略称。2030(令和12)年までの達成を目指す国際目標で、2015(平成27)年の国連サミットで採択されました。持続可能な地域社会づくりのため、17の目標を掲げています。



## クリアファイル回収

同校ではプリンターのインクカートリッジ回収にも取り組んでおり、奉仕委員会の野野英夫さん(6年)は「一人一人が他人の役に立つような意識で活動したい」と話している。



クリアファイル回収事業の周知や実践に取り組む野野さん

①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに⑧働きがいも経済成長も⑨産業と技術革新の基盤をつくろう⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2023年4月26日付

### 学校でSDGs

## 大戸小(会津若松)児童45人

### エネルギーをみんなにそしてクリーンに

### 電気、水道料を揭示

児童会の企画環境委員、ラフにして校内に掲示する会が中心となって活動している。月ごとに学校で使用される電気料、水道料をグラフで示している。



学校で使った水の量のグラフと白岩さん

①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに⑧働きがいも経済成長も⑨産業と技術革新の基盤をつくろう⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2023年5月10日付

### 学校でSDGs

## 郡山ザベリオ学園小(郡山)児童20人

### 貧困をなくそう

### つくる責任つかう責任

### 新聞やアルミ缶回収

毎月4日(日)新聞やアルミ缶などの資源回収活動を行っています。郡山市の資源物リサイクルセンターに回収し、環境に配慮した製品に生まれ変わります。



①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに⑧働きがいも経済成長も⑨産業と技術革新の基盤をつくろう⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2023年6月14日付

### 学校でSDGs

## 東中(貝原)生徒1人

### 住み続けられるまちづくりを

### 航路をゼロに

### 知恵を絞り地域を守る

地域の食材を使った親子の調理に取り組み、食育と環境教育を推進しています。



①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに⑧働きがいも経済成長も⑨産業と技術革新の基盤をつくろう⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2023年5月24日付

### 学校でSDGs

## 高坂小(いわき)児童1人

### 陸の豊かさを守ろう

### 阿彌陀堂のハス再生

学校の敷地に咲くハスの種を採取し、阿彌陀堂のハス池で再生させています。



①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに⑧働きがいも経済成長も⑨産業と技術革新の基盤をつくろう⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2023年6月28日付

### 学校でSDGs

## 醸芳中(桑野町)生徒1人

### エネルギーをみんなにそしてクリーンに

### 教室の窓枠に断熱材

教室の窓枠に断熱材を取り付け、省エネと快適な学習環境を実現しています。



①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに⑧働きがいも経済成長も⑨産業と技術革新の基盤をつくろう⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2023年7月12日付

### 学校でSDGs

#### 原町三中 (南相馬市生徒会)

## キャップ回収続ける

**13 気候変動に具体的な対策を**  
**12 つくる責任つかう責任**

ペットボトルのキャップは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO2)の回収するリサイクルに利用される。回収したキャップは、ペットボトルのキャップを回収するリサイクルに利用される。回収したキャップは、ペットボトルのキャップを回収するリサイクルに利用される。

5年以上続いている。2021年(令和3)年からは、ペットボトルのキャップを回収するリサイクルに利用される。回収したキャップは、ペットボトルのキャップを回収するリサイクルに利用される。

キャップ回収活動は、生徒会を中心に、教員も参加している。回収したキャップは、ペットボトルのキャップを回収するリサイクルに利用される。

キャップ回収活動は、生徒会を中心に、教員も参加している。回収したキャップは、ペットボトルのキャップを回収するリサイクルに利用される。

2023年8月23日付

### 学校でSDGs

#### 安達高 (二本松市生徒会)

## ワクチン接種を支援

**12 つくる責任つかう責任**  
**3 すべての人に健康と福祉を**

活動に位置付けている。ワクチン接種を支援している。活動に位置付けている。ワクチン接種を支援している。

活動に位置付けている。ワクチン接種を支援している。活動に位置付けている。ワクチン接種を支援している。

活動に位置付けている。ワクチン接種を支援している。活動に位置付けている。ワクチン接種を支援している。

活動に位置付けている。ワクチン接種を支援している。活動に位置付けている。ワクチン接種を支援している。

2023年7月26日付

### 学校でSDGs

#### 大里小 (天来村児童45人)

## 5年生が「巻心」回収

**12 つくる責任つかう責任**

巻心紙の回収活動を行っている。5年生が「巻心」回収活動を行っている。巻心紙の回収活動を行っている。

巻心紙の回収活動を行っている。5年生が「巻心」回収活動を行っている。巻心紙の回収活動を行っている。

巻心紙の回収活動を行っている。5年生が「巻心」回収活動を行っている。巻心紙の回収活動を行っている。

巻心紙の回収活動を行っている。5年生が「巻心」回収活動を行っている。巻心紙の回収活動を行っている。

2023年9月13日付

### 学校でSDGs

#### 平野小 (福島市児童)

## 農業の重要性を学ぶ

**15 陸の豊かさも守ろう**

農業の重要性を学ぶ機会を提供している。平野小(福島市)の児童が、農業の重要性を学ぶ機会を提供している。

農業の重要性を学ぶ機会を提供している。平野小(福島市)の児童が、農業の重要性を学ぶ機会を提供している。

農業の重要性を学ぶ機会を提供している。平野小(福島市)の児童が、農業の重要性を学ぶ機会を提供している。

農業の重要性を学ぶ機会を提供している。平野小(福島市)の児童が、農業の重要性を学ぶ機会を提供している。

2023年8月9日付

### 学校でSDGs

#### 喜多方一小 (喜多方市児童)

## 節電、節水積極的に

**13 気候変動に具体的な対策を**

節電、節水の取り組みを行っている。喜多方一小(喜多方市)の児童が、節電、節水の取り組みを行っている。

節電、節水の取り組みを行っている。喜多方一小(喜多方市)の児童が、節電、節水の取り組みを行っている。

節電、節水の取り組みを行っている。喜多方一小(喜多方市)の児童が、節電、節水の取り組みを行っている。

節電、節水の取り組みを行っている。喜多方一小(喜多方市)の児童が、節電、節水の取り組みを行っている。

2023年9月27日付

### 学校でSDGs

#### 会津西陵高 (津島町生徒)

## 課題克服の方策探る

**11 持続可能な消費と生産**

課題克服の方策を探る活動を行っている。会津西陵高(津島町)の生徒が、課題克服の方策を探る活動を行っている。

課題克服の方策を探る活動を行っている。会津西陵高(津島町)の生徒が、課題克服の方策を探る活動を行っている。

課題克服の方策を探る活動を行っている。会津西陵高(津島町)の生徒が、課題克服の方策を探る活動を行っている。

課題克服の方策を探る活動を行っている。会津西陵高(津島町)の生徒が、課題克服の方策を探る活動を行っている。

2023年10月11日付

### 有機栽培の綿を生産



**学校でSDGs**

**いわき秀英中・高(いわき)**  
中学生46人、高校生11人

**陸の豊かさを守ろう**

収穫した綿を手にする中学生

①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなに⑧クリーンなエネルギー⑨産業・観光と持続可能な開発をつくる⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2023年11月22日付

### スマート農業に挑戦



**学校でSDGs**

**修明高 農業生徒部**

**働きがいも経済成長も**

**つくる責任つかう責任**

収穫したハクサイを手にする野田さん(左)

①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなに⑧クリーンなエネルギー⑨産業・観光と持続可能な開発をつくる⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2023年10月25日付

### 落ち葉活用し堆肥に



**学校でSDGs**

**大玉中(大玉)**  
大玉中生徒部

**陸の豊かさを守ろう**

堆肥をかき混ぜる生徒

①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなに⑧クリーンなエネルギー⑨産業・観光と持続可能な開発をつくる⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2023年12月13日付

### イモ発酵させ燃料に



**学校でSDGs**

**川俣小川俣児童部**

**エネルギーをみんなに**

**そしてクリーンに**

**気候変動に**

**具体的な対策を**

サツマイモを使った実験でエネルギーについて学ぶ児童

①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなに⑧クリーンなエネルギー⑨産業・観光と持続可能な開発をつくる⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2023年11月8日付

### 古里の自然環境維持



**学校でSDGs**

**猪苗代中(猪苗代)**  
猪苗代生徒部

**住み続けられるまちづくりを**

**陸の豊かさを守ろう**

猪苗代湖に漂着した水草を回収する生徒たち

①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなに⑧クリーンなエネルギー⑨産業・観光と持続可能な開発をつくる⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2024年1月10日付

### 思い出の桜バッジに



**学校でSDGs**

**荒海小(荒海)**  
荒海町児童部55人

**住み続けられるまちづくりを**

**陸の豊かさを守ろう**

伐採した桜の木を使ってバッジを作る児童

①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなに⑧クリーンなエネルギー⑨産業・観光と持続可能な開発をつくる⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫気候変動に具体的な対策を⑬海の豊かさを守ろう⑭陸の豊かさを守ろう⑮平和と公正をすべての人に⑯パートナーシップで目標を達成しよう

2024年1月24日付

### 学校でSDGs

山上小(相模)児童20人

質の高い教育をみんなに

飢餓をゼロに

## 地元の伝統野菜栽培

相模土産のPR活動に取り組む児童

相模土産を守る会を... 地元の伝統野菜栽培... 質の高い教育をみんなに... 飢餓をゼロに... 地元の伝統野菜栽培... 相模土産のPR活動に取り組む児童... 質の高い教育をみんなに... 飢餓をゼロに... 地元の伝統野菜栽培... 相模土産のPR活動に取り組む児童...

2024年2月14日付

### 学校でSDGs

坂下東小(会津坂下町)児童20人

陸の豊かさを守ろう

## 自然環境大切さ学ぶ

「めえ山」を散策する児童

自然環境大切さ学ぶ... 陸の豊かさを守ろう... 「めえ山」を散策する児童... 自然環境大切さ学ぶ... 陸の豊かさを守ろう... 「めえ山」を散策する児童...

2024年2月28日付

### 学校でSDGs

富岡小(富岡町)児童48人、生徒23人

すべての人に健康と福祉を

エネルギーをみんなにそしてクリーンに

## パネルで意識を共有

活動で使うパネルを作る生徒

パネルで意識を共有... 活動で使うパネルを作る生徒... 富岡小(富岡町)児童48人、生徒23人... すべての人に健康と福祉を... エネルギーをみんなにそしてクリーンに... パネルで意識を共有... 活動で使うパネルを作る生徒...

### 作品ギャラリー

みなさんから寄せられたSDGs未来新聞の作品を紹介します(一部)  
テーマ「7年後の未来をよくするために、私たちにできること」



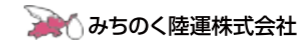
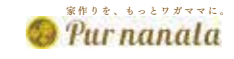
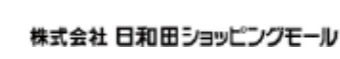
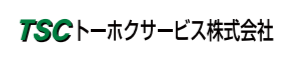
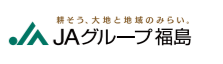
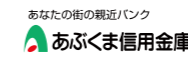
作品ギャラリー

みなさんから寄せられた **SDGsポスター** の作品を紹介します(一部)

テーマ 「7年後の未来をよくするために、私たちにできること」



ふくしまSDGsプロジェクトは  
協賛パートナーの皆様のご支援をいただいて  
運営しています



株式会社サン・ペンディング福島、第一生命保険株式会社福島支社、東洋ワークセキュリティ株式会社、日東産業ホールディングスグループ、株式会社日黒工業商会、株式会社リビングソーラー

今後も福島県内の多くの方々にSDGsを知っていただき、活動していただくためにも  
皆様のご協賛が必要です。

協賛パートナーの詳細については公式WEBサイトをご覧ください。



ふくしまSDGs  
<https://sdgs.fukushima.jp>



ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム

- 構成団体 日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県ユニセフ協会、福島大学、JAグループ福島、福島民報社(事務局)
- 賛同・後援 福島県、福島県教育委員会
- 協力 会津大学、福島県立医科大学、福島学院大学・福島学院大学短期大学部、桜の聖母短期大学、日本大学工学部、奥羽大学、郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部、東日本国際大学・いわき短期大学、福島県生活協同組合連合会
- 賛同自治体 福島県内59市町村